

3-5 短期大学部門検討会議

本会議は、短期大学の窮状を改善するための情報技術の活用について、教育、経営管理、学生支援（サービス）の面から戦略的な導入の可能性と方向性について、経営管理の責任者、教員、事務局が参集し、研究協議することを目的としている。会議の企画・運営・実施は、短期大学会議運営委員会（委員長：和田茂穂、千葉経済大学短期大学部）を継続設置して対応した。

（１）開催要項の決定

短期大学が経営戦略として、ITも活用しつつ組織をあげて取り組んでいる事例、短期間でITを活用して学習効果をあげている授業事例の紹介を通じて魅力ある教育戦略を模索することとし、以下のとおりプログラムを決定した。

平成17年度 短期大学部門検討会議開催要項

日 時 平成17年6月11日（土）13：30～17：00
場 所 関西大学 千里山校舎

【開催趣旨】

短期大学の窮状を改善するための新しい取り組みについて、教育、学生支援（サービス）の面などから情報技術の活用を視野に入れつつ戦略的な方策を研究協議する。

I. 開会挨拶 社団法人 私立大学情報教育協会 戸高 敏之会長

II. 事例紹介「キャリア教育における学生支援の組織的取り組み」

金城大学短期大学部 藤元 宏一 氏（ビジネス実務学科助教授）

目的意識や職業意識の明確化などを目的としたキャリア教育と、学生カルテなど学生支援のための学内情報の共有化について、取り組みを紹介いただく。

「学生の質保証を目指した英語学習支援」

京都外国語短期大学 柳田 博明 氏（英語科長、教授）

学生個々のレベルに応じた教育の実践、成績評価システム、CALL教材を活用した学習システム、カルテ方式の個人学習記録システムなど、総合的な学習支援の取り組みを紹介いただく。

「学習意欲を高めるための幼児教育におけるIT活用」

常磐会短期大学 新谷 公朗 氏（幼児教育科講師）

幼稚園・保育所での情報機器の利用機会が増している現状を踏まえ、幼児教育の中で課題作成にITを活用して学生が主

体的に学習する実践例を紹介いただく。

「社会のニーズに対応したIT教育への取り組み」

育英短期大学 宮田 聡子 氏（現代コミュニケーション学科助教授）

社会の要請に応えられる人材を育成するため、主体的に情報を活用し発信する能力を身につけさせる実践的な情報リテラシー教育について紹介いただく。

Ⅲ. 全体討議

「魅力ある短期大学を目指した教育・学習支援」

前半での事例を踏まえ、魅力ある短期大学を実現するための教育政策、ファカルティ・ディベロップメント、学生一人ひとりの質を高めるための学習支援、地域との連携などについて、情報技術の活用を視野に入れつつ新しい取り組みを模索する。

（２）開催結果および次回への準備

参加者は昨年とほぼ同様の４１名となった。開催概要は巻末の資料編【資料１２】を参照されたい。その後、運営委員会では、参加者のアンケートを参考にしながら１８年度の開催方針を検討した結果、ＩＴを活用した教育の問題解決よりも、短期間で教育効果を上げるため、授業改善、教員の教育力向上などファカルティ・デベロップメントに重点をおくことにした。

プログラムでは、教員の意識改革、ＩＴ活用を含めた教育力、教職員による学生個人指導の工夫などへ取り組んでいる事例紹介を行い、まとめとして全体討議を行うこととした。